

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

部局名	市民福祉部	部局長名	中川 清
-----	-------	------	------

部局内の 経営資源	当初予算	395.6億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		165人	105人	270人

<p>①部局の使命 (組織の存在価値)</p>	<p>薩摩川内市地域福祉計画(平成19年3月策定)基本理念『すべての市民が住み慣れた地域で、お互いに支え合い安心して健やかに暮らせるまちづくり』を目指し、部内外との連携強化により事業を実施することである。</p>	<p>②組織目標像</p>	<p>【施策の目標像】</p> <p>(1) 民生委員、健やか支援アドバイザー、民間事業者及び市役所をはじめ各行政機関との連携により、要支援者の把握・支援・相談体制が充実されている。</p> <p>(2) 介護予防事業を地区コミュニティ協議会と協働して介護予防事業を実施し、市民の参加により、健やかに暮らせる地域づくりが確立されている。</p> <p>(3) 保育所・放課後児童クラブの整備、その他子育て支援が進められ、子どもを産み育てやすい環境が充実されている。</p> <p>(4) 障害者(児)への福祉サービスが充実され、障害者の社会参加が促進されている。</p> <p>(5) 健康づくりへの意識が向上され、国民健康保険事業・介護保険事業は健全に運営され、医療体制も充実されている。</p> <p>(6) 戸籍・住民異動の正確で迅速な処理と身近なところで証明書発行ができています。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1) 職員一人ひとりが、市民からの問合せ・申込・相談に対して親切・的確に対応でき、また、課内の応援体制ができています。</p> <p>(2) 地域福祉の推進団体である市社会福祉協議会をはじめ民生委員や関係協力団体(者)と連携が取れ、問題が発生した場合には迅速に対応できる組織。</p> <p>(3) 少子高齢化の進展と限られた財源・職員数の中で、より効率・効果的な事業の企画立案と運営、そして、市民に分かりやすい周知啓発(広報充実)ができる組織。</p>
-----------------------------	--	---------------	--

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

平成22年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）	⑧年度末の達成状況
健康増進の推進 【市民健康課】 【国保介護課】	(1) がん検診の推進 ・がん検診の受診率30%の目標を達成する。 ・がん検診後の要精検査の受診率95%を達成する。	①乳がん検診の毎年実施 ②1年生検診の実施 ③女性特有のがん検診事業の実施 ④広報誌・チラシ・ポスターによるがん検診の受診啓発 ⑤がん予防講演会の実施		
	(2) 高齢者への各種支援 ・介護予防ボランティア事業の推進 ・登録者270人の目標を達成する。	①ふれあいサロン・高齢者クラブへの登録勧奨説明の実施 ②ボランティア団体会員等への登録勧奨		
	(3) 特定健診（40～74歳）の受診率向上 ・22年度：50%以上 （20年度：30.6%，21年度：31.7%（3月末））	①受診券発行時のチラシ同封 ②日曜・祝日健診の実施 ③各種団体・事業所等を介しての受診勧奨（チラシ配布） ④地区コミへの協力依頼 ⑤市民健康課と連携による制度の周知広報 ⑥未受診者への受診勧奨通知：7月・9月実施		
	(4) 長寿健診（75歳以上）の受診率向上 ・22年度：30%以上（20年度：24.4%，21年度：28.5%）	①受診券発行時のチラシ同封 ②日曜・祝日健診の実施 ③地区コミへの協力依頼 ④市民健康課と連携による制度の周知広報		
母子保健事業の充実 【市民健康課】	(1) 母子保健事業の推進 ・乳幼児健診の受診率95%を達成する。未受診については、全員の状況把握を行う。	①未受診者については、2回の通知による受診勧奨を行う。それ以上の未受診者については保健師等の訪問を実施。		

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

	<p>・こんにちは赤ちゃん事業の推進訪問実施率 95%を達成する。</p>	<p>②母子保健推進員の活動の推進</p>				
<p>救急医療体制の維持・充実，甑島地域医療体制の維持 【地域医療対策課】</p>	<p>(1) 救急医療・小児科産科救急体制の充実及び医療体制の安定的な運営</p>	<p>①研究会・連絡会の開催（年 1 回以上開催する。） ②住民受療意識の啓発（チラシの配付及び広報紙への掲載を 1 回以上行う。） ③広域的支援体制の調査研究</p>				
	<p>(2) 甑島地域医療体制の安定的な運営</p>	<p>①甑島地域診療所の管理運営方針の見直し（平成 22 年 12 月まで見直しを図る。） ②甑島地域医療体制の充実</p>				
	<p>(3) 医療従事者等の確保</p>	<p>①医師確保，偏在解消の要望 ②奨学資金の貸与（平成 22 年 5 月までに広報紙で募集掲載を行う。） ③募集活動の実施</p>				
	<p>(4) 国民健康保険直営診療所の経営改善</p>	<p>① 職員研修の実施 ・看護師研修会を年 1 回以上開催する。 ・薬剤師による医薬品管理指導を年 1 回実施する。 ・診療報酬明細書点検指導を年 1 回実施する。 ② 経営改善計画書の作成（平成 22 年 5 月までに作成する。） ③ 連絡調整会議の開催（年 4 回以上開催する。）</p>				

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成22年度

医療保険・介護保険事業の充実 【国保介護課】 【地域包括支援室】	(1) 医療給付費の適正化等	①コンビニ収納の実施 ②従来の医療費通知に加え、柔道整復療養費の通知を実施 ③ジェネリック医薬品の普及促進 ④重複・多受診者への指導 ⑤かかりつけ医定着の啓発				
	(2) 後期高齢者医療制度の充実	①制度の周知広報 ②保健事業の実施				
	(3) 介護給付の適正化・認定の迅速化 ・申請から結果通知までの期間を37日から33日以内に	①介護給付適正化の主要5事業の実施 ②認定調査の早期実施 ③主治医意見書の早期入手 ④審査判定依頼の早期実施				
	(4) 長寿・介護保険料の収納率向上 ・滞納繰越分の収納強化(22年度:98.5%以上)	①高齢者医療・介護給付の両グループが連携した徴収体制の確保 ②収納対策課との連携 ③電話催促、臨戸訪問の実施				
	(5) 地域包括支援センターの効果的な運営	①センター業務の周知広報 ②包括的支援事業及び介護予防支援事業の内容の充実 ③センターの運営委託化の協議				
安心して暮らせる地域福祉社会の構築 【高齢・障害福祉課】 【福祉課】	(1) 障害者福祉の充実	①障害者自立支援事業の充実 ・情報の提供及び相談に応じた調査及び指導 ・虐待等の防止、早期発見のために関係機関と連絡調整 ②障害者自立支援協議会:2回開催及び委員の拡充, 定例会:4回, 個別支援会議(随時)開催及び充実				

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

	<p>(2) 高齢者福祉の充実</p>	<p>①元気高齢者の健康づくりと生きがいをづくりの支援 ・はり・きゅう交付率：21年度11.3%⇒22年度12.0%) ・おでかけ支援交付率：21年度53.0%⇒22年度55.0% ②独居，虚弱，要援護高齢者等の福祉施策の推進 ③高齢者福祉施設の改修整備 ・甌島敬老園居室，入来高齢者福祉センター ④甌島敬老園指定管理代行による管理運営業務の支援 ・職員17名派遣中</p>		
	<p>(3) 民生委員・児童委員一斉改選の実施 ・民生委員・児童委員259人 主任児童委員26人，計285人， 任期22年11月30日まで</p>	<p>①コミュニティ協議会及び自治会との連携 ②支所との連携強化による候補者選出</p>		
	<p>(4) 生活保護法に基づく自立の支援 ・保護者への求職相談等実施 120件</p>	<p>①必要な生活水準の確保など援護を要する市民の生活維持と就労支援等による生活の自立支援</p>		
<p>少子化対策・子育て支援策の充実 【子育て支援課】</p>	<p>(1) 保育所待機児童対策の推進</p>	<p>①保育所定数：120名増 ②認定子ども園：80名増</p>		
	<p>(2) ファミリーサポートセンターの充実</p>	<p>①甌地域での展開 ②本土地域における会員増：100名増</p>		

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

	(3) 児童の健全育成	①放課後児童クラブの整備・支援 : 15箇所 ②指導員の資質向上:研修5回実施 /年				
質の高い窓口サービスの提供等 【市民課】	(1) 質の高い窓口サービスの提供	①窓口業務の見直し ・接遇改善・申請書見直し, 先進地研修等 ②住基カード作成の案内と自動交付機利用率の向上 ・カード作成: 4,000枚(利用率15%)				
	(2) 相談事業の積極的な広報と相談体制の充実	①消費生活相談・法律相談などの広報と相談体制の充実 ②支所巡回消費相談の広報と相談体制の充実 ③国民年金の広報と相談体制の充実				
⑦年度中間総括						
⑨年度末総括						